

平成29年7月18日

## 研修報告書

松戸市議会議員  
大塚 健児

研修:いわき創生に向けた取り組みについて  
主催:全国若手市議の会  
日時:平成28年7月18日(火) 15時半~17時  
場所:いわき市役所8階会議室

### 【研修報告】



まずは東日本大震災におきた被害状況の説明がありました。  
津波だけでなく、地震・原発による被害は、写真を通して把握できました。  
何とも言えない、心が痛む状況です。

いわき市は死亡者460名(直接死293名、関連死130名、死亡認定等37名)  
多くの方が犠牲となし、心からご冥福をお祈りしました。

さて、ここからが復興に向けた取り組みです。  
大きく分けて3つのテーマがあります。

- ① ひとづくり
- ② まちづくり
- ③ 仕事づくり

### ① ひとづくりについて

たくさんある中で、とても印象的であったのが、「いわき市未来につなぐ人財応援事業(奨学金返還支援事業)」です。

#### いわき市への就職者を対象に、奨学金の1/2の額を支援

経済界にも呼びかけ、地域全体で若者を還流する仕組みを構築(地方創生応援税を活用)

### ② まちづくりについて

「いわきFCとの連携」

株式会社ドームが、施設費全額負担をしてスポーツ施設を建設しました。

加えてサッカーチーム「いわきFC」の設立。

株式会社ドームの倉庫も建設したため、サッカーをしながら、倉庫で働くという雇用も創出。

スポーツを通じていわき市を東北一の年にするとのことでした。

### ③ しごとづくりについて

いわき産のワインが地元では有名です。そこで、このワインをブランド化し、稼げる農業の実現をするというものです。

●ブドウ畑の拡大 1.7ha→2.7ha

●6次化施設の整備

特に障がい者雇用の創出を行うとのこと、大変魅力的でありました。

#### (まとめ)

特に印象的であったのは②のまちづくりについてです。株式会社ドームがほぼ全額費用負担をし、いわき市は土地を見つけるだけで、大変立派な施設ができました。加えて雇用まで創出しています。これからは、いかにして民間と連携をしていくのか。市民はもちろん、民間にも選んでいただけるシティプロモーションが大切であると感じました。

以 上